

奥多摩町立小学校のあり方検討委員会（第5回） 会議録

令和5年5月16日

午後7時00分～7時45分

記録者 教育係 鈴木

奥多摩町役場地下1階 会議室

出席者：教育委員会：清水教育課長（委員長）、野田指導主事、鈴木教育係長

委員：渡辺 英俊（副委員長）、谷田貝 美鈴、松井 良、原 善哉、石上 和伸、
師岡 さと子、志茂 剛之、本郷 達矢、濱田 聡子、橋本 永吾、小林 隆行
島崎 勘、杉村 翔、

欠席者：木村 光恵、乙津 秀敏（敬称略）

1. 開会あいさつ 事務局 鈴木教育係長

4月から委員・事務局変更の報告

委員変更：奥多摩中学校 西村元一委員から原善哉委員へ、
古里保育園保護者代表 清水弥真人委員から杉村翔委員へ
事務局：新島委員長から清水委員長へ
安部指導主事から野田指導主事へ

2. 委員長あいさつ 清水委員長

皆さんこんばんは、4月に課長に転任になりました清水です。不慣れな点もあるかと思ひますがよろしくお願ひいたします。

小学校のあり方検討委員会につきましては、会議要旨等、拝見させていただきましたけれども、昨年度4回の実施をしていただきまして、前回の委員会で次の検討委員会の設置基準等をご協議いただき、内容についてご承認をいただいたところです。本日は、検討委員会の設置基準と保護者教職員のアンケート結果をご報告させていただきます。それではよろしくお願ひいたします。

3. 報告事項 進行：清水委員長

（1）今後の検討委員会の設置基準及び委員構成について…別紙1

事務局より説明 鈴木教育係長

前回の検討委員会でご意見をいただきまして、ご了承いただきましたので、設置基準及び委員構成について再確認ということでお示しをさせていただきます。

まず今後の検討委員会の設置基準といたしましては「各校児童数が42名、または連続する学年児童が7名以下の場合に検討委員会を設置すること」といたします。なお学校児童数の42名とは、連続する学年だけではなく両面からチェックすると意味での設置基準となっております。また以前からご説明をさせていただいている国や東京都の複式学級の基準について、参考までに

記載させていただきましたのでご確認ください。

次に委員構成につきましては、前回の委員構成から変更はございません。以上の設置基準及び委員構成で今後の検討委員会を設置したいと考えております。また今後こちらの案を、教育委員会にお諮りしまして、ご了承をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

別紙1の説明については以上となります。

(委員長)

有難うございました。

それでは次に(2)ですが、アンケートを一通りご説明してから、ご意見等を伺いたいと思います。では(2)園児・児童・生徒保護者アンケートの集約について事務局より説明をお願いします。

(2) 園児・児童・生徒保護者アンケートの集約について—別紙2

事務局 鈴木教育係長より別紙2についての説明

別紙2をご覧ください。こちらにつきましては、保育園・小学校・中学校保護者からのアンケートの集約をしたものとなっております。

【保育園】 アンケート配布数 91世帯 回答者数30世帯 回答率33%

(問3：小学校のイメージについて)

良い、やや良い、普通が全体の70%の結果から、比較的好印象なイメージをもっているということが、グラフから読み取れます。

(問4：問3の具体的な理由)

別紙にてご説明いたします。

(問5：地域活動について困りごとはあるか) 地域活動：自治会行事やお祭り等

「ない」という回答が70%と多い結果となっております。

(問6：ご意見・ご要望)

別紙にてご説明いたします。

～次のページをご覧ください。

まず今回の集約ですが、メリット・デメリットの具体的な意見については、学校への要望と様々なご意見がありましたが、こちらに記載させていただいたのは小規模校に対するメリット・デメリットを抽出して記載させていただきましたので、先にご報告させていただきます。

～別紙より問4、問5、問6のアンケートの具体的な意見の説明～

【小学校】 アンケート配布数 102世帯 回答者数39世帯 回答率38%

(問3：子どもの学習についての満足度)

満足、やや満足、普通が全体の97%の結果となり、大半の方が満足している結果、

(問5：保護者からの視点で子どもが通う学校の満足度)

満足、やや満足、普通が全体の80%の結果で満足度が高い結果となっております。

～別紙より問4、問6、問7、問8、問9、問10具体的な意見の説明～

【中学校】 アンケート配布数 53世帯 回答者15世帯 回答率28%

かなり回答率は低くなっております。こちらのグラフから分かるように、あまり不満が無いことが読み取れます。

地域活動については、保育園、小学校、中学校ともに同意見の回答がありました。

～別紙より問4、問6、問7、問8、問9、問10具体的な意見の説明～

以上が保育園、小学校、中学校保護者アンケートの集約結果となります。この意見につきましては、次の検討委員会の協議の中で参考とさせていただきたいと思っております。説明は以上となります。

(委員長)

はい。有難うございました。

次に(3)教職員向けアンケートの集約についての説明を事務局よりお願いします。

(3) 教職員向けアンケートの集約について――別紙3

奥多摩町教育委員会の指導主事になりました野田豊と申します。よろしくお願ひいたします。

事務局 野田指導主事より別紙3の説明

(委員長)

事務局、指導主事より報告事項の説明がありました。ご質問、ご意見があればお願いします。

(委員)

このアンケートの回答率の低さにすごく驚いています。すごく保護者の方にとって重要な案件だと思うのですが、なぜこんなに低いのだろうとびっくりしています。もっともっと周知していかなければと感じました。喫緊のことなのに、あまりの低さにびっくりしました。

(委員長)

他にご質問等がありますか。よろしいでしょうか。

(委員)

保護者のアンケートで、保育園児の保護者の方と、小学校児童の保護者の方で、子どもの学習についての満足度は割と良いというパーセントが多めと思ったんですけど、中学校生徒の保護者の方は同じ設問では、満足という方がガクッと減っているような感じがして、小学校と中学校でギャップがあるのは当然のことだと思いますが、結構そこで変わってしまうんだなと思いました。それぞれの特性の違いとかあると思いますが、中学校では学習面で難しくなっていくのか。小学校だと割といろいろな活動をやっていくと思いますが、中学校になると学習とかに絞られてくると、やはり少人数というのは難しいところがあるのかなと思いました。

(委員長)

中学になるとテスト等で点数が出てしまうので、家庭でもその点においても気にしてしまうのかと思います。委員、その辺についてご意見ありますか。

(委員)

厳粛にまずは受け止めたいと思います。やはりどうしても中学校は出口が社会と言いますか、義務教育でもあって高校入試というのに関わってくるので、やはり成績とかかなり注目されることもあるなど。今、本当に不登校にしても塾に行けない等、どんよりとした思いが保護者の中にもあるので、そうなると同時に高校のために、塾との送り迎えで青梅とかあちらの方へ出ていくのかと思うと、そういうこともいろいろ関わってくるのかなと。そうなってくると学校だけで何とかしてもらいたいという気持ちもあるでしょうし、それがなかなか叶わない気持ちもあるし、単純に学習を楽しみながら学んでいくこととは少し違う雰囲気が中学校には出てくるのではないかと思います。ただやはり学習は楽しいなど、そしてそれがしっかり身に付いて、力になっていくんだということを絶えず発信していきたいと思っております。

(委員長)

他にはご質問等ございますか。

(委員)

これらの結果をホームページとかに載せる形ですか。

(事務局 鈴木教育係長)

そうですね。載せないと分からないと思いますので、載せる予定でおります。

(石上委員)

結果だけを載せる感じですね。

(事務局)

そうですね。この集約を、少し個人を特定できないようにまた編集し直してホームページへ載せたいと思います。

(委員)

保育園という立場からなのですが、これは保育園の保護者アンケートの問6で、私たち保育園長と職員の立場でみると、誰だと分かる文章なものですから、保護者も気付くと言えれば気付くのかと。問6はふたつともうちの保護者かなという思いがあります。

(事務局)

それか、このアンケート集計のグラフをホームページに載せるかというところですね。

(委員)

知ってもらいたい現状ですが、回答率が30%くらいしかない、30%こう思っているということは周知したい部分ではありますよね。そうすると見た人たちは、そのうちのうちは何%にいるんだなと感覚になってもらいたい、もう少し意識をもってもらいたいですけど。

(師岡委員)

以前からアンケートってすごく低いんですよね。またここになって低くなったのは、うちが書いたのが分かるとか、人数が少なくなったからまた書きにくいところがあるのかなと思います。それと今、見れない、忙しいというか、子どものこともあるでしょうけれど、スマホを見る時間はあるんですけど、お子さんのことに関してこのアンケート書く時間をとるのが結構大変みたいだと思うんですよね。

(事務局)

今のこのアンケート結果の公表の仕方については検討しますが、いずれにしても結果は公表し

たいと考えております。

(委員)

その自由意見とかその根拠になるものの意見が、私が読んでいて感じたのは、やや不満とか不満という割合が一定数いながらも、意見、自由意見として全くない。私みたいな立場にいる時に“不満なんだよ”“ここが”と言ってもらえないと改善しようがないということになるので、数値だけしか載せられないのかなと。

(事務局)

そうですね。グラフの数値を公表するという形にしようかと思えます。意見を載せるとやはり個人の特定等、分かってしまうところがあると思うので。いずれにしても公表については検討いたします。

(委員)

でもアンケートを取った趣旨的には、少人数の良さやデメリットというか、少人数の良さはどの部分を伸ばすのかを良さを取り上げるのか、はっきりさせるというのが趣旨だったと思うのでその部分は分かるようにした方が良いと思います。グラフは載せるにしても、コメントは全部載せなくても良いので、それが分かるように抽出して載せることがあっても良いのかなと。そこが分からないと、満足、やや満足等の割合だけではなくて、何を期待しているのかとか、そこが結構負担なのかと思えます。回収率の少なさも小学校、中学校の方で、それぞれが学校評価をやっているんで、非常に個別的な具体的な事例に関しては、学校評価で反映されるということが多分あって、このアンケートはそれとは別になるのかなとの疑問も多分あったのかと。

(委員)

メールか何かで送んでしょうか。

この保護者、常日頃保育園で会話を交わしているんで、こんなことを言いたいんだろうないうことは分かるので、言いたいことは伝えてほしいんです。せっかく保護者が書いて表現してくれたわけですからそれは伝えてほしいんですけど、これを読んだときに「これあの人のことよ。」と。何といても少人数の問題点もあると思うので、それを踏まえたその保育園の方で、あの人はこんなことを言いたかったんだという、もっと集約したものを配信してこういった形にまとめて…多分これはこのままの形で載せるんですよ。

(委員長)

そうですね。今の意見を伺って、保育園についてはグラフの部分だけになってしまうと思うので、小学校と中学校については、問7、問8で小規模校のメリット、デメリットの所があるのでここはこちらの方で、個人が特定されるような文面等は載っていないと思いますので、保育園はグラフのみ、小学校と中学校については、このアンケートのグラフとメリット、デメリットの所を掲載するような形でいかがでしょうか。

それでは、そこのところはもう少し事務局と練ってやるようにしますので、よろしく願いいたします。他にご意見ございますか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、報告事項は終了いたしましたので、事務局へお返ししますのでよろしく願いいたします。

(事務局)

はい。委員長進行有難うございました。

4. その他

(事務局)

それでは4.その他ですが、委員さんから何かありますでしょうか。

—全員 特になし—

それでは前回の意見を集約させていただきまして、今回再確認ということでお示しをさせていただきました。

これで今回の「小学校あり方検討委員会」でございますが、2条の所掌事務というところで、設置基準また現状分析ということで保護者アンケートと、今後の設置基準等を決めさせていただきましたので、今回をもちましてこのあり方検討委員会につきましては終了ということにさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。

先程も申し上げましたが、この基準につきましては、教育委員会の方にお諮りしましてご了承いただく流れになりますので、よろしく願いいたします。

5. 閉会 (事務局)

それでは、この委員会の最後ということで、閉会のご挨拶を渡辺副委員長よりいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(副委員長)

この閉会のお仕事をいただいて早5回目となります。毎回これが重荷でして、何を話そうと…今日車で来た時に、鳩ノ巣あたりを過ぎた時に、急に小河内中の校歌だと思うんですけど、30数年前にいた小河内中学校の校歌を急に思い出したんです。すごく分かりやすい曲なんですけども、多分あれは今どこにも披露されることもないでしょうね。余程の機会が無い限り。30数年前に小河内中に赴任していなくて、またそこでもバドミントン部と出会ってなければ、私はこの席にお邪魔することもきっとなかったんだろうなと。どこかで申し上げたかと思うのですが、小河内中が私の教師生活のスタートだったということで、今も大事に本籍地は奥多摩町においておりまして、多分動かすことはないと思っております。

また今回これでこの委員会は終了ということですが、今後もできることを奥多摩町のためにもしていきたいなと考えております。9月からの長期間お疲れ様でした。有難うございました。

(事務局)

はい、それでは以上をもちまして、あり方の検討委員会を終了させていただきます。今回委員になられました皆様には、ご協力いただきまして誠に有難うございました。お疲れ様でした。